

単元名 「すごいな 住田のいいところ ～教えよう～」

単元の目標

- 名所の特色について、相手に伝わるように表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 名所に対する地域の人々の思いを感じ取るとともに、友達と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 地域の名所に関心を持ち、進んで探究活動に取り組むことができる。【自立的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・地域全体の名所について理解を深め、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・自分たちの地域にある名所について互いの小学校同士で伝えることができるように、自分の考えを話したり書いたりして表現することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・地域全体の名所に関心を持ち、積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・調べる内容や学んだ内容の伝え方を、仲間と意見を出し合って決めることができる。 ・相手意識をもってまとめたり発表したりできる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・課題を探究するために、友達と協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・互いの学校児童の話から、名所に関する地域の人々の思いを感じ取ることができる。 ・地域全体の名所の「すごい」「いいな」について教えられたことに感想を話したり書いたりできる。
D 関自的活動に資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り取り組みの現状を認識して、課題解決に必要な学びや活動を考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域全体の名所のよさについて感じたことを自分なりの方法で表現し、伝えようとすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・自分が住んでいる地区の「すごい」「いいな」を相手に伝えられたことを実感することができる。

単元の指導

(全 30 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
課題 設定 作り	8 ・ 9	1	す ご い な	○ 互いの学校同士でそれぞれ地区の「いいところ」【観光名所・自然】を紹介し合い、住田全体の「すごいな」「いいな」を知るには、どのような学習が必要か考え、確かめる。 ・目指すゴール(どんな活動ができればよいか)、そのためにどんな学習をしていけばよいか考え、学習計画を確認する。 ○ 単元の学習課題を設定する。 例「世田米(有住)の観光名所・自然の「すごいな」「いいな」を教えよう。」		見		
見 通 し を も つ		2		○ 互いの学校に、自分たちの地区の「いいところ」【観光名所・自然】を教えるための伝え方を決める。 (実際に案内する・テレビ電話で伝える・ポスターなどにまとめて発表するなど) ○ 調べたことの中から教えたいことを選んだり、まとめの構成を話し合ったりする。 【道徳】相互理解・寛容 【国語】つたえよう、楽しい学校生活			伝	創
ま と め		3		○ 決めた方法でグループごとにまとめる。 ・実際に案内するなら、どんな話をするか決める。紙芝居やクイズなど、作る必要があるものは作る。 【道徳】相互理解・寛容 【国語】つたえよう、楽しい学校生活		提 伝		
実 施		3		○ グループ内で役割を決め、互いの学校への発信に向けて練習をする。 ・グループの中で、互いの学校に案内するときに話す内容を実際に話したり、紙芝居やクイズなどをするのであればそれを読んでみたりする。		提	協	
見 通 し を も つ		2		○ 交流本番についての計画を立てる。 ○ 互いの学校の進行具合を確かめ合い、日程を決定する。 ・テレビ電話などで進行状況を伝え合い、本番の日程やどちらから行くかなど決める。				感
改 善		2		○ 互いの学校への発信に向けて、校内で発表を聞き合ったり作ったものを見合ったりして、内容・発表の仕方についてアドバイスをし合う。 ・内容についてのアドバイス、発表の仕方についてのアドバイスに分けて、共に観点を決めて考えさせる。 ・「すごいな」「いいな」が伝わる内容になっているか。 【道徳】相互理解・寛容		多		
実 施 ・ 改 善		3		○ よりよい発信になるように修正する。 ・自分たちで実際に周りに伝えてみて気付いたこと、友達からアドバイスされたことを修正できるように話し合い修正する。 ・内容についても追加で調べる必要があったら調査活動を行う。			解	
見 通 し を も つ		2		○ 発表本番に向けた練習をする。 ・「すごいな」「いいな」が伝わる内容になっているか。			協	創
実 施	11	4	○ 互いの地域の名所について、決めた方法で伝える。① ・バスを使って互いの地区に行き、実際に案内してもらい、紙芝居やクイズなどを使って発表するなど。 【道徳】相互理解・寛容	地理	提 好	伝		
実 施		4	○ 互いの地域の名所について、決めた方法で伝える。② ・バスを使って互いの地区に行き、実際に案内してもらい、紙芝居やクイズなどを使って発表するなど。 【道徳】相互理解・寛容	地理	提 好	伝		
振 り 返 り		2	○自分たちの発表(案内・紹介)について、また、相手の小学校の発表(案内・紹介)について振り返る。 ・「すごいな」「いいな」を伝えることができたか。 ・相手の学校から伝えられた内容(情報)について「すごいな」「いいな」と感じるのは、どんなことか。 ○各自が思う住田全体の「すごいな」「いいな」についてまとめる。 【道徳】相互理解・寛容 【道徳】郷土愛 【道徳】自然愛護			受	肯	
振 り 返 り		2	○互いの発表(案内・紹介)の振り返りについて、伝え合う内容を決め、それに向けた準備をする。 ・手紙を書いて送り合う、ビデオレターにするなど決めた方法で取り組む。 ○互いの発表(案内・紹介)の振り返りについて、伝え合う。 【道徳】自然愛護			受		

単元名 「すごいな 住田のいいところ ～受け継ごう～」

単元の目標

- 地域に伝わる芸能を知り、その良さを感じ、表現することができる。 【社会参画に関する資質能力】
- 学習に関わる人との交流や対話を通して、その人の思いや願いに気付くことができ、友だちと協働して活動することができる。 【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分たちの町に伝わる芸能の良さを表現し、学習したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・地域の芸能について知り、その良さを感じ、伝承活動に積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習の見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・踊りの由来や人々の願いを知り、自分はどのように踊りたいかを考えることができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・地域の良さや自分の思いがよく伝わるように、交流会で踊りを披露することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・地域に伝わる芸能について興味・関心を持ち、積極的に踊りの練習に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・本番の発表を成功させるために、友だちと協力し、励まし合いながら最後までやり抜くことができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・6年生から聞いたり、友だち同士で教えあったりしながら、より良い踊りを目指すことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・友だちと協力しながら、より良い踊りの発表を目指し、練習に取り組むことができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・友だちや関わった地域の方々の思いや願いに気付き、大切にすることができる。
D 関自律的資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの学習や生活に生かそうとすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域に伝わる芸能、またその良さを表現し、伝えようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・取り組みを通して、成果と課題を見出し、これからの生活に生かそうとすることができる。

単元の目標

- 地域に伝わる芸能を知り、その良さを感じ、表現することができる。 【社会参画に関する資質能力】
- 学習に関わる人との交流や対話を通して、その人の思いや願いに気付くことができ、友だちと協働して活動することができる。
 【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分たちの町に伝わる芸能の良さを表現し、学習したことをこれからの生活や学習に生かそうとすることができる。
 【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・地域の「もの・こと(人)」を振り返る中で、地域の良さを感じ、理解することができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・地域の良さや自分の思いがよく伝わるように、発表することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人 する 関係 資質 形成 能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・自分の思いや願いを伝えるとともに、友だちの伝えたいこともしっかり聞き、互いに考えを伝え合うことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・友だちの思いや願いを大切に受け止めることができる。
D 関自 律的 活動 資質 能力に	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・学習を振り返り、これからの学習や生活に生かそうとすることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・地域に伝わること、良さを伝えようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・1年間の取り組みを通して、成果と課題を見出し、これからの生活に生かそうとすることができる。

単元名

I Can Communicate with the World! 世界とコミュニケーションできるよ!

単元の目標

- 身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心に向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わることができる。【社会参画に関する資質能力】
- 地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉え、考えを伝え合うことができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 自分の感性や創造性を発揮し、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことで、自分のよい所を伸ばそうとする。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・IETとの関わりを通して、他の国の文化と比較しながら、地域の人々の暮らし、伝統など、住田固有のよさについて理解を深め、それらを大切に地域に積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・身の回りの「ひと・もの・こと(外国のことばとの関連も含む)」に自発的な関心に向け、自分自身にとって意味のあるものと感じ取り、積極的に関わろうとしている。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・丁寧に理由付けしたり事例をあげたりしながら、自分の考えを伝えることができるとともに、話し手の伝えたいことを聞き、考えを伝え合うことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	
	3 ★他者受容	【★受】	・地域の人々や仲間の思いや願い、考えを大切に受け止め、自分と異なる意見や考えについて、その背景にあるものを考えながら大切に捉えている。
D 自律的活動能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	
	2 ☆創出する力	【☆創】	・感じたことや考えたことをもとに、自分の感性や創造性を発揮しながら、発想したり創意工夫したりすることを楽しむことができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・様々な言葉で歌う活動を通して、よりよいものを目指しながら、自分のよさに気付こうとする。

単元の指導

(全 10 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
課題の設定	5	2	住田での好きな季節	My Favorite Season in Sumita 住田での好きな季節 ○前年度までの活動を振りかえり、「地域創造学」で学ぶことを確認する。 ○IETのマーク先生と一緒に外国の人ともより一層つながっていくことを確認する。 ○第1時 住田町の好きな季節とその理由を考える。発表の準備を始める。 ○第2時 最終準備と学級でのプレゼンテーション発表をする。	地理	★好	☆伝	
見通しを持つ	6	2	ボディランゲージ	Body language in different cultures 文化の違う国のボディランゲージ ○身体部位の呼び方や、世界で非言語コミュニケーションのために身体の一部が使われている様々な表現に親しむ。 ○コミュニケーションには言語のみでなく、非言語のコミュニケーションも有効であることを学ぶ。 ○非言語のコミュニケーションを用いると、すでに多くの人に気持ちを伝えることができるようになっていることを確認し、さらに様々なコミュニケーションの方法を学んでいくことを確認する。		★好	★受	
実施	7・8	2	異文化とのふれあい	異文化とのふれあい International Cooking (外国料理) ○世界各国の朝食の主な様子について学ぶ。 ○日本での朝食と比較し、文化の違いに気が付く。		★好	★受	
	9	2	世界の歌をたくさんの人と共有しよう	Singing Songs From Around the World 世界の歌をたくさんの人と共有しよう ○世界の歌を原語で歌ってみる。 ○町民歌「幸せ創る町住田」の外国語版を含む。		★好		☆創 ★肯
振り返り	1	2	1年間の振り返り	○1年間IETや友達と単元を通じて学んだことを振り返り、自分のことばで発表する。 ○年間の活動を通じて感じたこと、学んだことを個人で振り返り、「理想の国に必要なこと」というテーマで感想(作文でよいか検討を。ビデオでショートスピーチを撮影、なども考えられるか)を書く。 プレゼンテーションをするかも検討				☆創

単元の目標

- 自分が住む地区から地域全体に広げて、観光名所や伝統芸能について学習するという見通しをもつことができる。
【社会参画に関する資質能力】
- 町内2校の小学校同士で課題解決に向けた計画を話し合ったり、友達と協働して活動したりすることができる。
【人間関係形成に関する資質能力】
- 前学年での学習を振り返り、課題解決に向け必要なことを考えることができる。【自律的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	
C 関人す関関係形成能力に	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・互いの小学校同士で教え合って学習していくことを伝えることができる。 ・相手意識をもって自分の考えを伝えることができ、内容を捉えて考えを聞くことができる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・友達と協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	
D 関自律的活動に力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・前学年での学習を振り返り、課題解決に向け必要なことを考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	
	3 ★自己肯定感	【★肯】	

単元の指導

(全 5 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力			
					A	B	C	D
現 状 題 把 の 握 理 解		1		<p>○3年生の学習テーマは『住田のいいところ』であることを知り、2年生での学び「いいな」からだけでは情報が不足であることに気付く。</p> <p>・3年生の学習テーマが『住田のいいところ』であることを知り、「世田米(有住)のいいところ」と思う「もの・こと・(ひと)」について思い浮かんだものを発表する。</p> <p>※「いいところ」の捉えを確認 すこい=誇れる・自慢できる・紹介したい 等</p> <p>・2年生での学びを想起し、2年生での「いいな」は自分たちの生活に密接した「いいな」であったことに気づき、「町のいいところ」とは、少し異なっていることや紹介するには情報が不十分であることが分かる。</p>		☆多		☆感
課 見 題 通 し 設 持 つ		1		<p>○これからの学習の見通しをもつ①</p> <p>・前時に「世田米(有住)のいいところ」として出てきた「もの・こと・(ひと)」に追加していき、「いいところ」を説明し、【観光・自然】【芸能】(【人】)に分類し、詳しく「いいところ」を見つめる学習であることを掴む。</p> <p>※有:ここで学習をストップしておく。(世田米小3年生からTELが来るまで)</p> <p>・世:3年生は「住田のいいところ」が学習であり、世田米町と有住町のいいところが揃って「住田のいいところ」となることを確認し、有住とは有住に住んでいる人、自分たちを同じように学習を進めているであろう人、つまり「有住小学校3年生」に聞くこととする。</p>		☆見(世) ★好		
有世見 通 課 情 し 題 報 を 設 収 持 定 集 つ	4	1	計 画 づ く り	<p>○これからの学習の見通しを持つ② ※担任間で事前打合せをし、確認しておく。</p> <p>・世:有小に「有住のいいところ」を覚えてもらう連絡をするための、相談や練習を行う。 (分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方)</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、有住小学校3年生に「有住のいいところ」を覚えてもらうと共に、「世田米のいいところ」を紹介することを約束する。</p> <p>・有:世小から、地域創造学の学習で「お願い」の連絡がくることを知る。</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、世小に「有住のいいところ」を教えることをOKするとともに、同じように「世田米のいいところ」を覚えてもらうことを約束する。 いつ教えるか(日程)は、後で有小からスカイプ(Tvtel)することを伝える。</p>			☆伝(世) ☆協(有)	
見 計 通 画 し ず を 持 つ		1		<p>○これからの学習に見通しをもつ③ すぐ教えることができるかを検討し、2学期に教えあうことを確認する。</p> <p>・有:現時点では、「町のいいところ」を自分達自身が理解不十分であることを自覚し、紹介するために自分自分達自身が「町のいいところ」探しをする必要性を感じる。</p> <p>↓</p> <p>世田米小学校3年生に「1学期期間は、「それぞれが『町のいいところ』を探し、2学期に紹介しあうこと」を連絡をするための、相談や練習を行う。(分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方)</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、世田米小学校3年生に「1学期期間は、「それぞれが『町のいいところ』を探し、2学期に紹介しあうこと」を伝える。</p> <p>・世:有住小学校3年生から、地域創造学の連絡がくることを知る。</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、有住小学校3年生に「2学期にそれぞれの『町のいいところ』を紹介し合うこと」を確認する。</p>		☆見(有)		☆協(世)
		5						
(見 有 通 し 課 を 題 持 つ 握)	5	1		<p>○これからの学習に見通しをもつ④ 学習状況进行交流し、【芸能】については、3学期に紹介しあうことを確認する。</p> <p>・世:有小へ近況報告として、「町のいいところ」【観光・自然】について今一時中断して、運動会練習を通して【芸能】を現在進行形で実際に行っていることを伝えようとする。 ※実際の練習風景をVTRで紹介有住へ近況報告をするための、相談や練習を行う。(分担:誰が、何を:内容、どのように:伝え方)</p> <p>↓</p> <p>スカイプ(Tvtel)で話をし、有小に権現様を練習している様子を伝える。</p> <p>・有:世小の近況報告を聞いて、有小の【芸能】の取組は3学期行うことを伝え、【芸能】については3学期に交流しあうことを提案する。</p>		☆見(有)		

単元名 「すごいな 住田のいいところ ～見つけよう～」

単元の目標

- 地域の名所の特色に気付き、その良さを表現することができる。【社会参画に関する資質能力】
- 名所に対する地域の人々の思いを感じ取るとともに、友達と協働して活動することができる。【人間関係形成に関する資質能力】
- 地域の名所に関心を持ち、進んで探究活動に取り組むことができる。【自立的活動に関する資質能力】

評価規準

観点		評価規準	
A ◎地域理解		【地理】	・ 地域の名所について理解を深め、そのよさを感じ、積極的に関わることができる。
B 社会参画に関する資質能力	1 ☆見通す力	【☆見】	・ 学習について大まかな見通しを持ち、計画を立てて取り組むことができる。
	2 ☆多角的・多面的に考える力	【☆多】	・ 比べたり、分類したり、疑問を持ったり、よいところを取り入れたりしながら活動に取り組むことができる。
	3 ☆提案・発信する力	【☆提】	・ 自分たちの地区にある名所の「すごい」「いいな」というところについて、自分の考えを話したり書いたりして表現することができる。
	4 ★好奇心・探究心	【★好】	・ 自分たちの地区にある名所に関心を持ち、積極的に関わることができる。
	5 ★困難を解決しようとする心	【★解】	・ 活動がうまくいかないときにも、原因を考え、改善して最後までやり遂げることができる。
C 関人関する関係形成能力	1 ☆伝え合う力	【☆伝】	・ 調べる内容や学んだ内容の伝え方を、仲間と意見を出し合って決めることができる。 ・ 相手意識をもってまとめたり発表したりできる。
	2 ☆協働する力	【☆協】	・ 課題を探究するために、友達と協力して活動することができる。
	3 ★他者受容	【★受】	・ 家族やゲストティーチャーとの対話から、名所に関する地域の人々の思いを感じ取ることができる。 ・ 見学学習で見たことや聞いたことを進んで記録することができる。
D 自立的活動に関する資質能力	1 ☆感じ取る力	【☆感】	・ 学習を振り返り取り組みの現状を認識して、課題解決に必要な学びや活動を考えることができる。
	2 ☆創出する力	【☆創】	・ 自分たちの地区にある名所のよさについて感じたことを自分なりの方法で表現し、伝えようとするすることができる。
	3 ★自己肯定感	【★肯】	・ 自分や家族が知っている名所を発表し、調べたいことを考えることができる。

単元の指導

(全 22 時間)

プロセス	月	時	小単元名	主な活動内容と 関連する教科・領域	働かせたい 資質・能力				
					A	B	C	D	
現状把握	5	1	す ご い な 住 田 の い い と こ ろ 見 つ け よ う	○ 自分たちの地区の「いいところ」【観光名所・自然】について、知らないことが多いことを認識する。 ・計画作りの段階で思い浮かべた「住田の『いいところ』」の中から、自分達の地区のものについて、その特徴や良さを実際に発表してみる。そして、自分たちが知らないことが多く、誇りであると感じたり誰かに紹介したりできないということを実感する。		好		感	
課題設定		1		○ 自分たちが地区の「いいところ」【観光名所・自然】について知ったり、その後に互いの学校同士で紹介し合ったりするには、どのような学習が必要か考え、確かめる。 ・目指すゴール(どんな活動ができればよいか)、そのためにどんな学習をしていけばよいか考え、学習計画を確認する。 ○ 単元の学習課題を設定する。 例「世田米(有住)の観光名所・自然の「すごいな」「いいな」を見つけよう。」		見			
情報収集		2		○ 地区の「いいところ」【観光名所・自然】を見つけるために、名所についての情報を集める。 ・自分が知っていることや行ったことがある経験などを話したり、家族から聞いてきたりする。 【道徳】相互理解・寛容 【社会】わたしの住むまちはどんなまち		好		肯	
見通しをも		1		○ 自分たちがぐわしく知りたい場所はどこか、互いの学校の児童に紹介(案内)するにはどの場所が相応しいか、集まった情報を整理して理由つけて考える。 ○ 調べる場所を決定する。		多			
見直しをもつ		3		○ 地区の「いいところ」【観光名所・自然】についての調査計画を立てる。 ・グループ分けをする。 ・調べ方を決める。(実際に行く、人に聞く、本で調べる、地図や写真を見る、役場から資料をもらうなど) →「実際に行く」に決まる可能性が高いので、行って、もっと調べたいことは資料を使うなどして追加で調べること を確かめる。 ・「すごいな」「いいな」を見つけるには、どんな観点で見たり、どんな質問をしたりすればよいか、調査の内容を考 える。 ・実際に見ることや聞くことなどの調査内容を決める。(事前に決めたことだけに拘らず、その場で聞きたいと思っ たことは聞いてよいことを確認する。) ・話し方の練習やマナーの確認をする。		見	協		
実施		5		○ グループごとに調査活動を行う。 ・地域の名所に出かけ、実際に見たり話を聞いたりして分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと調べたいと 思ったことなどを記録する。 【道徳】郷土愛 【道徳】自然愛護 【国語】よい聞き手になろう 【社会】わたしの住むまちはどんなまち		地理		受	
振り返り		1		○ 調査内容をまとめる。 ・分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどをグループで共有する。 ・誇りに思えることや、誰かに紹介したいと思うことが見つかったかを確認する。 ・もっと知りたいと思ったことの調べ方を決める。 【社会】わたしたちの市の様子 【道徳】郷土愛		多		創	
実施・改善	2	○ もっと知りたいと思ったことを調べる。 ・人から聞いたり、本や地図、写真などの資料で調べたりして分かったこと、感じたこと、考えたことを記録する。		地理	解	受			
振り返り	1	○追加で調べたことを含め、「すごいな」「いいな」を見つけることができたか確かめる。 ・分かったこと、感じたこと、考えたこと、もっと知りたいと思ったことなどをグループで共有する。 ・誇りに思えることや、誰かに紹介したいと思うことが見つかったかを確認する。 【道徳】郷土愛		多		感			